

三菱商事ゆかりの地を訪ねて

こんにちは。マーク・キーガンです。
 米国三菱商事に勤務後、
 現在は三菱商事(東京本店)のIR部で働いています。
 今回は、特集「わたしたちの原点」の番外編として、
 貴重な文化遺産として大切に保管されている三菱ゆかりの建造物や
 庭園の中から、広く一般に公開されているスポットをご紹介します。



1. 洋館外観 2. トスカナ式列柱のある1階ホール 3. 渡り廊下の舟底天井

旧岩崎邸庭園

旧岩崎邸は1896年に岩崎家本邸として建てられました。英国人建築家ジョサイア・コンドル*によって設計されたものです。木造2階建・地下室付きの洋館は、本格的なヨーロッパ式邸宅で、近代日本住宅を代表する西洋木造建築。1階ホールには何本もの部材を組み合わせて作られた見事なトスカナ式の列柱があり、アカンサスをモチーフにしたジャコビアン様式の装飾が施されています。洋館と和館をつなぐ渡り廊下の天井は、舟底を模した舟底天井と呼ばれるつくりになっており、海運業でスタートした三菱というメッセージが込められています。



【所在地】
東京都台東区池之端 1-3-45

*ジョサイア・コンドル
 工部大学校造家学科(東京大学工学部建築学科の前身)の教官として1877年に英国から来日。教鞭をとるかたわら、数多くの洋館の建設に携わった。上野博物館、鹿鳴館、ニコライ堂などの代表作がある。

東洋文庫

1924年、岩崎久彌(三菱第三代社長)によって設立された東洋文庫は、東洋学全般にわたる専門図書館・研究所です。国内最大で、国際的にも世界五指の一つに数えられ、東洋学の研究図書館として高く評価されています。その基礎は1917年、当時中華民国総統府顧問を務めていたG.E.モリソンの所蔵する中国関連欧文文献2万4,000冊、地図版画1,000枚にのぼる『モリソン文庫』を久彌が日本の文化・教育のために購入したことに始まります。現在の蔵書数は約95万冊。その中には国宝5点、重要文化財7点も含まれています。蔵書は現在も、年間1万冊ほどのペースで増えています。



完成予想図(2010年12月竣工予定)。現在建て替え工事が行われていますが、工事期間中も閲覧室は従来通り利用することができます。



【所在地】
東京都文京区本駒込 2-28-21



清澄庭園

1878年、彌太郎が大名屋敷跡などを買い取り、自らの指揮で日本庭園に造成しました。当時、池のほとりにはコンドル設計の洋館がありました。深川親睦園と命名し、三菱の社員クラブ兼ゲストハウスとして利用しました。庭園は、関東大震災で大きな被害を受けましたが、この時災害時の避難場所としての役割を果たし、多数の人命を救いました。岩崎家では、こうした庭園の持つ防災機能を重視し、1924年、東京市(当時)に寄付しました。



【所在地】
東京都江東区清澄2・3丁目



六義園

五代將軍徳川綱吉に仕えた柳沢吉保の下屋敷跡。造園当時から小石川後楽園と並んで江戸の二大庭園に数えられていたものを岩崎彌太郎(三菱初代社長)が買い取り、日本庭園として整備しました。久彌が新婚時代を過ごした地でもあります。1938年、久彌が市民のための公園にと東京市(当時)へ寄付しました。1953年には、国の特別名勝に指定されています。



【所在地】
東京都文京区本駒込 6丁目



静嘉堂文庫美術館

静嘉堂は、岩崎彌之助(三菱第二代社長)と小彌太(三菱第四代社長)の父子二代によって建設されました。現在、国宝7点、重要文化財83点を含むおよそ20万冊の古典籍と6,500点の東洋古美術品を収蔵しています。図書を中心とする文庫は、1892年の創設以来、和漢の古典籍の収集に努め、保存を主とした専門図書館として活動してきました。美術館は文庫創設100周年の記念事業として建設され、1992年4月にオープンしました。彌之助の収集が絵画、彫刻、書跡、漆芸、茶道具、刀剣など広い分野にわたるのに対して、小彌太は、特に中国陶磁を系統的に集めている点が特色となっています。



【所在地】
東京都世田谷区岡本 2-23-1



小岩井農場

1891年開設。共同創始者である小野義真(日本鉄道会社副社長)、岩崎彌之助、井上勝(鉄道庁長官)の頭文字をとって「小岩井」と命名されました。開設当時、見渡す限りの不毛の原野でしたが、土づくりや植林により緑豊かな大地へと生まれ変わりました。1899年からは久彌が継承して場主になり、畜産振興を目指して種畜の生産供給事業を主体とし、また、乳製品の製造技術の確立を図り、わが国の酪農、乳業事業の発展に貢献しました。1938年には自立した経営を行うべく、小岩井農牧株式会社(本社:東京都千代田区丸の内)を設立し、農場はその事業所となりました。

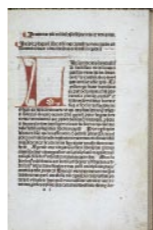


小岩井農場の酪農発祥地である「上丸牛舎」には、牛舎4棟とレンガサイロ2基があり、国の登録有形文化財となっています

【所在地】 岩手県岩手郡雫石町丸谷地 36-1



喜多川歌麿「高島おひさ」



マルコ・ポーロ「東方見聞録」



『解体新書』

【写真提供:東洋文庫】

